

地域おこし協力隊紹介 ～私と活動と、時々、暮し～

個性あふれる隊員自らが活動を紹介するシリーズ
《問合せ》地域づくり課 ☎21-9096



vol.60

出石焼の伝統技術継承

うちやま たかよし
内山 貴義

京都府出身。2025年6月から地域おこし協力隊に着任。永澤兄弟製陶所にて出石焼の技術継承のため活動している。

現在は、磁土を土練機で練る作業をはじめ、泥漿作り、風鈴や干支の置物、盃、湯呑み作りなど、日々さまざまな経験を重ねている真っ最中です。

経験が少なく、窯詰めや釉掛け、釉仕上げなど、上手くできない作業に対しては苦手意識や怖さを感じていましたが、作業を繰り返し実践していく中で、各工程のポイントや力加減などに気づけるようになり、少しずつ自信が芽生え始めてきました。7月には豊岡市の伝統工芸品(麦わら細工、柳ごおり、出石焼)の体験ワークショップを実施し、伝統工芸を志す他の協力隊との取組みに大変刺激を受けました。

いつかは私も、誰かを笑顔にできるような作品作りができたと思っています。

わたしたちの障害福祉 ⑧

9月23日は「手話言語の国際デー」「手話の日」



▲稽古堂ブルーライトアップ として2017年に国連総会により定められました。手話言語が音声言語と対等な言語であることを認め、ろう者の人権を守ることを目的としています。

日本では2025年6月に手話に関する施策の推進に関する法律(手話施策推進法)が施行され、9月23日が「手話の日」として定められました。

生活のあらゆる場面で、ろう者が手話言語によるコミュニケーションや情報提供が保障されることは、きこえる人とともに暮らせる「共生社会」の一歩となります。手話言語に対する理解を深めるため、全国各地の建物などが手話普及のシンボルカラーであるブルーにライトアップされます。本市でも、9月10日(木)～23日(水・祝)まで、豊岡稽古堂でブルーライトアップを実施します。《問合せ》社会福祉課 ☎24-7033、ファクス24-4516

多

様々な人々と共に生きよう

～多様性を受け入れ、支え合うまちに～



vol.22

サミール

ジャスリヤさん

共に暮らし、地域を活性化していく市民としてお互いの理解を深めるため、外国人市民の皆さんの豊岡での暮らしなどをシリーズで紹介します。

《問合せ》多様性推進・ジェンダーギャップ対策課 ☎23-0341

ふるさとについて教えてください。

スリランカの世界遺産「ゴールの旧市街地」の近くが私の故郷です。助け合いの精神が息づく社会がそこにあります。

豊岡で好きな場所はどこですか。

城崎温泉とシルク温泉が好きです。海もきれいですね。仕事が休みの日に、日本人の友達と海に釣りに行きます。

また、野菜を育てていて、成長を見るのが楽しいです。

(インタビュー：(一社)豊岡市国際交流協会)



インタビューの詳細▲

消費生活相談員の知恵袋 63

～光回線の契約トラブル～



事例 現在契約中の事業者を名乗って「利用している光回線を新しくする」と電話があった。後日申込書が届いたが、送付元は契約中の事業者ではなく別会社だった。契約内容がはっきりしないのでやめたい。

アドバイス 光回線サービスを電話で勧誘する場合、事業者は契約前に書面を交付し、料金や提供の条件を説明する義務があります。事業者に書面の提出を求め、改めて説明を受けたい場合は必要な契約か判断してください。内容がよくわからない場合はきっぱり断りましょう。

契約した場合でも、契約書面を受け取ってから8日間以内であれば解除できます。ただし解除までの利用料などは支払う必要があります。工事前なら無償で解約に応じている場合もあるため、早めに申し出てください。

《豊岡市消費生活センター》

●相談場所 生活環境課内

●電話相談 ☎21-9001



市ホームページ▲



■水道課 ☎22-5377 FAX24-2985

■下水道課 ☎22-1801 FAX22-1803

■水道お客さまセンター

☎22-5378 FAX22-5466

水道メーターの検針、水道の開栓・閉栓、
上下水道料金の請求・徴収

9月10日は下水道の日 下水道は安全・安心で快適な生活環境を支えています

立春(2月4日頃)から数えて^{にひゃくはつか}220日にあたる9月10日頃は台風が多く、古くから農家の厄日とされてきました。「雨水の排除」の意味から、9月10日を「下水道の日」と定められました。

下水道管内に侵入する不明水調査を行いました

不明水とは、本来、下水道管に流れ込まないはずの雨水や地下水のことです。

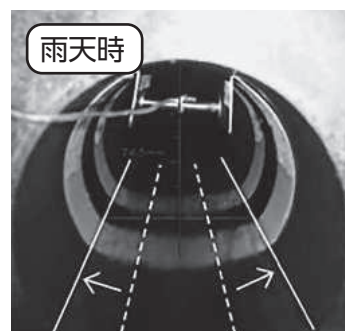
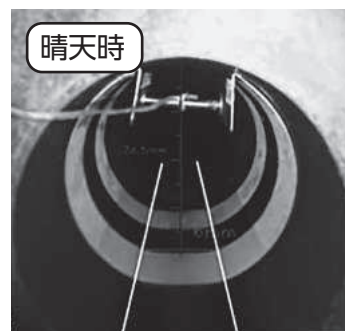
雨どいなどの誤接続やマンホール蓋の破損、管の劣化などにより、生活排水に混ざって下水道管へ流れ込むことがあります。

不明水が増えると、下水処理施設で処理する水の量が増え、電気代などの処理コストの増加や設備の劣化につながるおそれがあります。

このため、マンホール内にカメラを設置し、撮影画像から水量の変化を確認する調査を行いました。

その結果、雨天時に下水道管を流れる水の量が増える区域が確認されました。

今後、さらに詳しい調査を進め、必要な対策について検討していきます。



下水污泥肥料を無償で配布しています

資源循環型社会の構築のため、下水処理で生じた污泥を肥料として利用する取組みが各地で行われています。本市でも、乾燥させた污泥肥料(1袋当たり8kg)を希望者に無償で配布しています。

申込方法

豊岡市浄化センター(☎24-1088、一日市1419)に連絡し、希望袋数(1袋当たり8kg)と、受取時期を伝えてください。申込みを受けてから作るため、余裕を持って申し込んでください。また、受取場所は豊岡市浄化センターになります。

※受付時間は平日9:00~12:00、13:00~16:30です。

※販売目的での利用はお断りします。

※製造能力に限りがあるため、数量やお渡し日時についてご希望に添えない場合があります。

使用上の注意

特有の臭いがありますので、土と混ぜて使用することをお勧めします。

カリウム成分が少ないので、カリウム成分を含む肥料を混ぜて使用するとより効果が期待できます。

※肥料成分については、市ホームページで確認してください。

(利用者の声)
肥料が高くなっているため大変助かる

(利用者の声)
廃棄物が有効利用出来て有意義



下水道課
ホームページ